



## 校長室より No.13

～ We love 篠南 ～



□ 「御心配をおかけいたしました」 本日、宿毛市に警報が出ていましたが、幸い天候は落ち着いており、大きく崩れないという予想でしたので、通学路の安全を確認したうえで登校させました。「愛南町と宿毛市のどちらか一方でも警報が出たら自宅待機」という原則は変わっていませんが、特別な場合（明確に安全が確保できる場合等）は、今回のように学校から登校連絡を入れますので、連絡があるまでは自宅待機をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

□ 「気づき、考え、行動する」 中西弾さんのヴァイオリンミニライブが体育館で行われた日、中学3年生の増田晃隆くんが、体育館への通路を自主的に掃除してくれました。中西さんに気持ちよく演奏してもらうために、汚れていた通路をきれいにしてくれたのです。

全校生徒で運動場の草引きをしたときも、晃隆くんは、途中から石垣の草を一人で取り始めました。誰かに指示されたのではなく、自分の判断で始めました。決められた場所だけするのではなく、自分で気づき、考え、実践したのです。



ミニライブでは、中西弾さんの奏でる繊細で絹のような美しい音と完璧なテクニックに魅了されましたが、この日はヴァイオリンの音にも負けない晃隆くんの『人のために汗が流せる』美しい心にも触れることができ、とても幸せな気持ちになりました。

□ 「葉のテーマ」 ミニライブが終わった後、ヴァイオリニストの中西弾さんが「学校周辺を見たい」ということだったので、案内をしながら話をしていると、小学校の押し花教室も終わりが近づいていました。「今年は葉作りは無理かな」とあきらめていると、「私が校長先生の分も作ります！」と、小学6年生の岡原羽椀さんが作ってくれました。右写真の愛のこもった、いや心のこもった美しい葉です。



羽椀さんは、優しくよく気がつきます。下級生の面倒見もよく、心配り、心配りを忘れません。登校するときも、水泳練習のときも、集会のときも、廊下を歩くときも、常に優しく声を掛けるので、羽椀さんの周りにはいつも笑顔があふれています。「優しくて気がつく人は、自分だけでなく周りの人も幸せにするんだなあ」と羽椀さんを見てるとそう思います。羽椀さんに作ってもらった葉のテーマは『優しさ』です。自分の言動、優しい言動を振り返る目印にしていきたいと思います。

□ 「旬の野菜を召し上がれ2」 学校菜園で育て、収穫したキュウリを小学1・2年生が持ってきてくれました。とても美味しそうなキュウリです。キュウリには水分とカリウムが多く含まれ、利尿作用があるので、むくみの解消によく効くといわれています。ぬか漬けにすると疲労回復にも効果を発揮するそうです。また、キュウリには体内の熱を下げる働きがあり、夏バテ予防の効果も期待されています。

「どうやって食べようかな？」と聞くと、「ぬか漬け」「酢の物」「サラダ」がいいと教えてくれました。早速妻に「酢の物」を作ってもらうことにしました。